



新板
字
國通
卷
全

澤特別
 ㄨ 3
 3617
 66





四國徧禮道指南端備大成
 此乃志之人の志也向奉念法師五相
 之密の繩牀成出南海千里の念法師
 踏也一以後故洋揚行折乃きも成
 身一青一人家打くして空もろくも
 子枕とかさびけ遠く密念と強て八山と
 帯も志成志と縁とせしれもくも迷方
 とあまもさびあ病せもあて妙さび
 とらび鳥坂とめらし岩もくも又淡と

一 観世のたすぢり 遠途おむるに山人十方
乃 表檢とていづま 標石とておくあり
東西左右のあつて 表檢とてのたすぢり 彫刻
入墨をり年月とてて 文字おしりあは
るゝ海の大徳をともさうりの村を再治
所とていづまなり

一 けりあつての内は 八十分所の縁起宝物
考案く書し板の板のせしむる 建拜所
ま介村はとて 四つとて由来 後考案

かたのせしり

一 此のあつての中村の備よとあつす也
乃 此のつとていづまのまをとも 追もあり

相表の事

○ 札をさし板 長六寸 幅二寸

年月日

表書す 引 奉徧禮四國中靈場同行二人

裏書す 引 南無大師遍照金剛 国郡付 假名印

たのづくあらゆる也 但て 文あやでもう

紙札調子

奉納 徧禮四国中靈場同行二人

札をささぐそのひきやう願ふあがらぬ時ハ字跡を
たふし一蓮のど兒ハあよからんなり

紙札おき此事まれ雨の幸き天師太神ま
法守越て日本奈の神祇天子將軍ふま
る君父母師長六親眷属乃至法界平等
利益と打べし第一は比の恩得と感
宿れ兼れ用いあひび男女ともい光
明言大師の室号よて回向し一まれ雨の

身三遍よむひなり

一負儀めんつう益つえごさ御才足すまふ
資具心よほらせらぶど越て是よりして法
とびと云はるまより兼轄ハれ雨でふ
手あひ死るのつてとよ清すしえい
但しさうり兼轄よてもくろしがむ

け書物出所

大坂心教橋南五丁目

佐々井治郎右衛門



○為語人渡海男老入其老人のくも合
 方と男女も小老人のくも合

○宗有子飛流の人あれはくも合自性流
 四國為語道指南坊補大成全

一橋別大坂の所渡流渡海の時

切子支配 中く流 何故に勘合
 福崎 松平孫兵衛

下改人

中々

長りちかきことく少くも事あり

油屋吉兵衛

（巻五）

此身といひ流し入るは後及良縁と
 興し六十番切懐ちる一青天山ちとて送し
 札寺十七番井穴ち十六番親毛ち十番友井ち
 十二焼山ち十二一宮十常末ち十二國分ち
 石親毛ち一庚也徳徳大徳とり
 一河及徳徳徳くみの八恵山ちより札
 ちりめまき
 ○後及九龜城下へとる時八字是津
 乃場ちよりれたるくわい

○河及津徳徳天山ちとて常末津徳徳と西九丁國
 ちりめまき川ちり村ちり村ちり村ちり村
 川ちり村ちり村ちり村ちり村
 大河ちり村ちり村
 一青雲山寺河及板野親毛和山一系院と
 号ひはちと法大師親述大日孫施の二系
 と依り三系別よたて好ひ徳中親述法
 師とて「天皇の天山と和山と梅せしにり
 是和山天山寺とて徳徳徳徳人八後とて

びつひらびつ二里三丁より大塚大の御付社
中宮西交ありかありきと兼備すべし



坐長良山の釈迦のみまへありきと
二天 ありけしとまきとせしなり

毛谷あらくと十河板屋那村

二番極樂寺日照山といふ寺の基が
のちぬれ給ふとすのむきも何は座像は長
に尺五寸の基の四化ありたし兼師も兼た
弘法大師の御釈あり



極楽の住持の御ちへゆきたり
南无ありとありてあり

毛谷金泉寺と兼所 何れも村は那大寺村
三番金泉寺と兼光山釈迦院といふ寺
大師ひり地多ひ釈迦も兼内長三尺大師御像
龜山法堂の御所あり



極楽寺よりありけしとあり
こう條のいづもすまへあり

毛よりうらなよと二里おろの文大師あり



あらの終極の地蔵大菩薩
もちひきなう大の世のらへま

そのあはしくしと二里かたは村十薬村ひこの村

ふ番安樂寺又八坂定寺一と云板野郡をり
大所系所々系の坐像は七尺三寸一俵の位座と
ま妻玉一俵一と大所のころと云は平温谷水
兼所と云きこまされ温谷山と云



あはせ一俵一俵一と云は平温谷水
あはせ一俵一俵一と云は平温谷水

もより十らくと十所。は初たうと村

七番十樂寺なき坐像の何所は兼所系
の十らくとよりて寺の名とせり



人の公書と云くまされたる
つらんくつらぬりん十らく

もよりままたと二里はるのころ也今ハ若岡と
りふ。あし郡とあり村

八番慈谷寺普明山真光院と云谷深くは深し
ふきの千の千眼観音化者あは坐像は長六尺

伝舎利百廿六粒見りし一初めし山に於ては此の紀文
 を綴る不効異域の聖王の紀文の類に似たり



新よりあるまの谷の寺よりして
 の人々よりするものらし世のいふ

毛のりつう戸人一と十八所

九番法橋寺の白地山といふは地田中はをさなり
 むきま聖像の釈迦や身山と一又又す



大衆のひきももつてもつる
 法橋の衆人といふをさなり

毛のりつう戸人一と十八所
 十番切橋寺傳及山灌頂院と云寺の名といふ
 て村の名といふ事き千の観者不効異域の
 とありおけりは神の山地中の多門におまへつ
 二王といふ聖王の化あり



くまんとありすちしゆを
 のらし世のいふもの

けおとく者井ち焼山ちしゆを
 橋ち初めつるもの多し一置は衣冠

川に云大河と云及よりなるその二里半を
大窪と云あり人の一着と見ふらと云書と送
及久し其山と云はる十里十亦と云是か
後井と云二里半と云能多村大能村びり其の
川と云舟と云いふその麻植村と云り



十一番前井寺金剛山と云つくと大所いと始め
後八兼師や来れ長三又と云はり幸と云と云
是し香と云中たけうのち
と云の波れと云目と云

是か多と云人くと二里山坂也二里半の
柳のあとと云る是ハ猿人湯也一附大師楊枝
と云てかたしはひありと云りかきと云と云
一と云を楊枝と云と云き後ハ柳と云りと云
後来ハ人湯と云すありと云る也今柳ハ
あり大師を云る者かきと云と云と云あり
と云ら村と云川と云ありと云人湯と云と云焼
山と云十八町のやう坂中ハ兼師を云あり
十二番焼山寺名を勅廢盧山性来院と云

山宮く縁より本寺の虚空を託大師は此坐像に今寺
奥院ハ寺の十町余の復摩宮出地窟か
しつあり大門より十八町坂とてそを築の二所
墓あり六枚六七ふありとてふ



のち世くおもへ恭敬多うえち
お出やと逢のち人志よありとも

そこの宮ハ又里さうら村よりこのまへひて
うかか村ひらの村よりこ村一本木のまや
とまをまうはくまを山流谷の川におまを

十三番一宮寺名本那寺ハ大栗山に在る院
大目寺と云大師大目系の像に坐り身立
し縁ふとあり今の本寺ハ十一面観音のま
乃れ坐地とすもい寺奥院と号するあり
そより十八町西あり又方地あり



何故のまのまといゆかてまは
くけてたのまは世のまはを

そが常来ちと十又町は乃川をある村
十四番常樂寺名本那盛寺ハ山と云まを

不動尊坐像八寸大所の内作像にて
矢野延命と云



常来れりてのついで
くせひのあまのつねらねども

芝のらふと八所。マの村

十五番園分寺法養山金也院と云園分ち
とのふを聖法天竺語して大六の秋也二并
と他の天竺語と写し天下一國よ一寺つてえ
ま一終ふと云の園分ちと云くまて名月今

い寺兼師の坐像は長尺五寸他共三のす



多くは漢わりの金とて丸のれバ
流將中死のあまのつねらねども

芝のらふと八所。認もあきり

十六番觀音寺名東の光耀山千人洗と云
本より千人認も山名六尺大所の内作



手合とも存りてあまのつねらねども
さいむり世界かこのまやうと云

芝の井立ちと十八所。かしのねの林の中らうと

十七番井土寺名は新後橋山伏堂と云
 院と云智徳が子の遺をていひ又い奉と云
 大師のといひゆひ奉と云兼師と云山伏と云
 曰天王地り安坐し終り法号八幡橋の弁あり
 かのぼとちていられ井土れぬ
 いす人ハびりのあやめちあん
 是かおん人へと云里のうみ川津流と云家つと
 津流と云せつと云二げんやねいりううと云川と云
 かつけ川と云と云と云と云と云と云と云と云と云



つら村川のまへ系村志系村だの村志と云
 十八番恩山寺勝浦那い寺を志天竺の勅り
 仍て地基并造立し終ひ奉る兼師の坐像
 仍基が川と云傳り終ふと云後大師いとう終ひと
 さいと云しお母の骨とおさめおとを築それら母
 巻山恩山と云と云と云



次はつらまさ坂下釈迦唐宝亀五甲寅年六月十五日弘
 法大師誕生の坐像と云はつら教の下むつと納め之

中野村に在りては、
より中野に在りては、
どくまか入道今より時ハ、
今もか入道今十八所故也、
りの村ハ、
坂本村に在りては、
権頂ハ、
○月頂山ハ、
中野村の奥院と云々

一、
のけり、
大師、
也、
又、
仏、
よと

北番、
ち、
翅、

地蔵の金像くもさほり「本と切はせ二尺八寸
地蔵と作りかゝる金像と網の地蔵と立像の



坐するも善いなりとありて
大師といふは地蔵の坐する

是より大徳とて二里守が森村の時に二里守大
井村あり川あり。まゝに村家定むあり
此一番大徳寺那波の舎心山常徳院とて
奉る虚を大徳寺地蔵は師少年の時
興と来し求開と修し是より興徳大徳

まゝに三教指席ホ一のへ給ふ徳徳なり



大徳のつひよひとせりよる
まゝに開けしものたあり

是より平徳寺と二里飛所徳徳山なるは山に村
かゝる二里守あせひ村。切縁坂あつたの村

此一番平徳寺白水山醫王院と号すい寺
大師宗とて徳徳山徳徳の母を引か



平徳とて徳徳のありては
あまのありてかゝりてあり

是の茶王寺とて七甲寺の中川より女所やと
 村はさく。月夜村かひら坂をこし茶王寺
 あり。さうせ川は川の勢貝人の足なちてり
 やうり大師が坊一柱ひたるあまうの貝のこ
 ころは。小野村いりね坂をこし石あり。たい村
 とまごん坂。おな坂ひまごたい村とて坂より
 川あり。水がもれ村ひまご村浦川あり
 北三番茶王寺海部郡醫王山無量壽寺院と
 といひ。基井宗基あり。後大師あり。谷谷ひ

茶師や茶の像と伝う女並一伝う塔の本
 寺千子親言総士二十八坊とて基の山は
 是の西六十余所とてその奥院あり。あてこ
 岩とて大師の化の本寺とてはさう寺傳のひま



ねのやまからとれまきし
 りりれとてりとのなまうしゆを
 右の坂分を土依ひり寺とて廿里四十
 里の坂分がた村よこが坂山川村ありは
 らちとて寺ま言乃揚遍れとてりはては

北田香苗^{イナ}寺^{イナ}安^{イナ}空^{イナ}那^{イナ}室^{イナ}山^{イナ}明^{イナ}星^{イナ}院^{イナ}最^{イナ}
所^{イナ}濟^{イナ}寺^{イナ}くし^{イナ}く^{イナ}大^{イナ}法^{イナ}師^{イナ}本^{イナ}團^{イナ}お^{イナ}
依^{イナ}終^{イナ}小^{イナ}地^{イナ}あり^{イナ}明^{イナ}星^{イナ}本^{イナ}院^{イナ}を^{イナ}も^{イナ}よ^{イナ}う^{イナ}
て^{イナ}虚^{イナ}空^{イナ}を^{イナ}空^{イナ}の^{イナ}そ^{イナ}う^{イナ}像^{イナ}と^{イナ}は^{イナ}ら^{イナ}り^{イナ}其^{イナ}重^{イナ}し^{イナ}
が^{イナ}ら^{イナ}ん^{イナ}が^{イナ}ま^{イナ}ま^{イナ}あ^{イナ}ら^{イナ}う^{イナ}

大師の山縁歌

法性^{イナ}の^{イナ}室^{イナ}空^{イナ}く^{イナ}く^{イナ}と^{イナ}て^{イナ}我^{イナ}す^{イナ}め^{イナ}ハ
う^{イナ}の^{イナ}成^{イナ}風^{イナ}た^{イナ}ね^{イナ}目^{イナ}を^{イナ}た^{イナ}ら^{イナ}さ^{イナ}



留^{イナ}星^{イナ}の^{イナ}出^{イナ}ぬ^{イナ}の^{イナ}の^{イナ}ひ^{イナ}く^{イナ}し^{イナ}
く^{イナ}し^{イナ}の^{イナ}海^{イナ}も^{イナ}い^{イナ}お^{イナ}ら^{イナ}ぬ^{イナ}は^{イナ}

け^{イナ}山^{イナ}下^{イナ}の^{イナ}若^{イナ}名^{イナ}谷^{イナ}口^{イナ}の^{イナ}ひ^{イナ}ろ^{イナ}さ^{イナ}を^{イナ}そ^{イナ}と^{イナ}又^{イナ}興^{イナ}へ^{イナ}と^{イナ}そ^{イナ}り
愛^{イナ}は^{イナ}極^{イナ}現^{イナ}又^{イナ}東^{イナ}の^{イナ}若^{イナ}名^{イナ}を^{イナ}入^{イナ}り^{イナ}十^{イナ}七^{イナ}分^{イナ}り^{イナ}あり
坂^{イナ}上^{イナ}ハ^{イナ}女^{イナ}人^{イナ}を^{イナ}ん^{イナ}ぞ^{イナ}の^{イナ}た^{イナ}ら^{イナ}う^{イナ}い^{イナ}わ^{イナ}ら^{イナ}り^{イナ}一^{イナ}世^{イナ}後^{イナ}の
し^{イナ}の^{イナ}坊^{イナ}く^{イナ}ら^{イナ}む^{イナ}と^{イナ}芋^{イナ}を^{イナ}も^{イナ}を^{イナ}津^{イナ}と^{イナ}く^{イナ}二^{イナ}里^{イナ}十^{イナ}所
か^{イナ}ど^{イナ}下^{イナ}坂^{イナ}は^{イナ}ら^{イナ}浦^{イナ}女^{イナ}人^{イナ}を^{イナ}も^{イナ}を^{イナ}ら^{イナ}う^{イナ}る^{イナ}石^{イナ}の^{イナ}切^{イナ}
と^{イナ}ど^{イナ}一^{イナ}切^{イナ}人^{イナ}同^{イナ}と^{イナ}お^{イナ}ら^{イナ}う^{イナ}る^{イナ}と^{イナ}む^{イナ}ら^{イナ}う^{イナ}ら^{イナ}う^{イナ}も
お^{イナ}ら^{イナ}う^{イナ}石^{イナ}の^{イナ}切^{イナ}と^{イナ}く^{イナ}し^{イナ}也^{イナ}
北^{イナ}田^{イナ}香^{イナ}苗^{イナ}寺^{イナ}安^{イナ}空^{イナ}那^{イナ}室^{イナ}山^{イナ}明^{イナ}星^{イナ}院^{イナ}津^{イナ}照^{イナ}と^{イナ}
云^{イナ}大^{イナ}師^{イナ}の^{イナ}建^{イナ}立^{イナ}を^{イナ}奉^{イナ}る^{イナ}地^{イナ}を^{イナ}并^{イナ}坐^{イナ}像^{イナ}大^{イナ}師^{イナ}の^{イナ}作^{イナ}

なりつはささき安田川安田浦所は所は
是より北に石をたうのこぬがの峯を坂
林の傍に石をたうのこぬがの峯を坂
北七番神峯寺安田郡竹林山と云奉る
十二面佛像は長さ八寸他老をいふ
くのかみの二里九折山と云奉る
たうがたう南の郡は後へ人ゆきと云奉る



ふ仏のちうひん心かうれまの
やうとれちとくたひあうとも

けりまうりよりまうり風とりのまうり
乞方大目寺と九里おふ山がりの村いぢま
けり川二瀬とあふ浦所とせう漢州た二里
山を乞とくよりて小川まうりまうり井山
けりまうりまうり井村山井村と云奉る
けり小川まうり漢とくけり村あふり村所とて
榜とくのいち村とて石をたう大たう村
北八番大目寺がとけり法界山とて聖院と云奉る
基并と中興とて後大目寺とてけり復と

せりしめり幸も六日や来はるに天守の基元
大楠木と彫つけの素肝と大師の作



考よりついでに大日さま
なごりあつていふに

是の五分とて一里まがなほ村に
るよわい川をみはつていふに
いふに松本村よの村なごり
川あり。長巻郡五分村

其九番五分寺を聖武天皇勅之あるまのあり

ぶくも今の幸も初基の地は
親善の地三々不動門と狼士と



まよけたるついでに
すまの世まてのり

是よりこのまよ二里まがなほ
村は乃よ小坂ありて
ありなごり村あり。清
ちの城あり。長巻郡一の
三十番一の宮百の神宮

坐像の石像は素秘佛化若くは
明末の神也八重の事代主の命の名なり



人知くまあるなる二つを
いづれも今もさうなぬるか

是もまたかさんさ三里あとの村の中を
ひきまらへひきまおとてまた山への
とあへへは九山ありかち下所入口
こそへへは清正徳来のひねあり
とむ所よまある村の清正の庄やへへ

あつてまじかる。所よりまじかる
ひきまらへは海地さへたる
わさへへはなむちししは孫寺さへ
またかへへ八所坂なり

此一番又基山を云那金急院竹林寺と
号すは所聖武天皇の所敷の基を
勅よらつて建ま又隆文殊の像の基
なりはひ平きとよりまじの清涼山
と極しはりの元大山華構なり



あまのつとむ世の仏の母とて
われも子とせんちとせりけん

まのせうがーとに思ふ。八所なり。

江戸にありしとて下田村にありて。十市指

世に善禪師峯寺と長郡八葉山求聞持院と

と云ふ。十一面大佛東にありてあり。



まのせうがーのせうがー
うふあふのけをやまひ

まのせうがーとに思ふ。一里八海ありたり。

まのせうがーとに思ふ。一里八海ありたり。

まのせうがーとに思ふ。一里八海ありたり。

まのせうがーとに思ふ。一里八海ありたり。

まのせうがーとに思ふ。一里八海ありたり。

まのせうがーとに思ふ。一里八海ありたり。

御作は長四尺



結のたふさくも今もあつて
のちたふさくのあけり月

まのせうがーとに思ふ。一里八海ありたり。

から及び佐村の西出のうさ坂又ふんうさ
とよまがうさ村。あのみ村。あのみ坂。あのみ村
は西院山院流さるるを猪小川はあの大平の
りくはひらへさ坂とて

土佐のうさ坂のうさ坂は山く風きて
うさ坂とてあまのうさ坂とてあまの
猪小川はうさ坂とてあまのうさ坂とて
あまのうさ坂とてあまのうさ坂とて
あまのうさ坂とてあまのうさ坂とて

さも毎寸さるる村。なてい坂。なてい坂
よこばさ村。さもてい坂。なてい坂。なてい坂。い
あまのうさ坂とてあまのうさ坂とてあまのうさ坂とて
あまのうさ坂とてあまのうさ坂とてあまのうさ坂とて
あまのうさ坂とてあまのうさ坂とてあまのうさ坂とて
あまのうさ坂とてあまのうさ坂とてあまのうさ坂とて
あまのうさ坂とてあまのうさ坂とてあまのうさ坂とて
あまのうさ坂とてあまのうさ坂とてあまのうさ坂とて

悟大なる村・懐みぬいさ村
北八番驛院山補陀洛院全剛福寺といふ
は寺大所いふありしと勅奉再興
奉き千の千眼の大懸出せ又二十八部衆
を分れ作のて安まとい山役修老修の宛
天祐多りしと呪伏せりハ天祐いふま
りてえけりしり驛院山と云大師唐しと投
修又股持全割いふ山とあるし今全割
福寺といふり親老の買物ありたり補陀

は山院号しす修の買物いふ人
月一海へて感す



修りやある宛のぬれさ
ころもすつものりれこ山

是る寺山と十二里ある真念庵へりり
たの山村おなじら村是と山は溪河上か
るこ村ありある大あの時たし
川ありつる所村の老なけ後すいその川村
やここの坂ありあり村をこ郡中村

世九壽寺山系懸山延元寺と云大所出らん
立本之業師也系天所出也真院といふも
迷遠修塵なり 以上土部かき也



も世業所徳徳意除の教ありて
肉のつら身をなするまじしゆを

毛の身勿然自在寺と七里以内二百里は
つと坂作と云土別修也。地是村。もと村月山
の人のいふも村出の毛の寺と云二里を
相安んばとこれ辨ゆれば乃じの世川

村用ありいふもと系未調也。しがらつ府。
ゆらと村らと云系村。大なる系村表あり土
筋の切の毛へ後と。松尾坂作土と云別
境あり。石をこまき人休あり。心くん心
毛の身及願と云ま村表系切と云く。ま
ひらと村と云山へかつる所は表也いふあり。
うらむらと村と云人村。字和勢平塔村

像品 廿六ヶ所

四十齋親自在寺平塔山系所院といふ

大所寺瓜之河長三尺三寸三條の茶所と傳ふ
本寺のくし茶所院のしむわとて一説もと伝ふ
持心親貞とてしむ



之を人々をさしおきて
た世の世にしてすじやきりゆの

毛のいありて家二所を二たさる十三里一
大の金うある十三里一たさる十三里一
先にもとら山後谷あひかきもすする本切
しはら十三里坂上をさる下らさるちをさる

おきこきまいら松のりから海松のり○此の中
乃ハから月大う金うは二里さす村小ん
と坂三里しで松村のりから○此茶所
ひらと村のり村まら村らら

○藤山親世を寺本寺十三面山長又人山と
登世三本松現わとて池あり具異ゆして後
病はさると月也坂三里から川村青木切の
あつむみらち村中井村坂のりあり
村ひえ田より松村をより寺松竹林下る

ちがひといふべしやう村。今和歌あけのり村
 下十二番明石寺源光山田平院と云々を
 千と規書坐像の長三言人化若家さうし今
 白王権次のをうそそまかちの石とりのあは
 家りく千のあひひやうと
 入る人きくもやうくあけい
 ちがひすうう山と廿二里うの所個知う下
 ちうの村よまのり村あうに村。東乃村
 書亦切のあひとじとさう村あうと字和と大洲



の境すとして坂二里を水乃村はる小川を
 大洲城下側由う。下村。さうの村懸谷が
 橋本のの所らあが坂内の三村をへるあ
 川わさうらちせ坂じとさ村坂。五百の村あ
 せ村は雨よ妻松考と云あつ先祖魚人の
 ためさう。川のやう村むあつ村下た村中
 たど村よたむ村三橋の村うすさ村。二明村
 はさたよひとさ坂大洲城松山院境也。久る
 の所。浮宮郡さうう村

軍平寺青雲山大室寺大光院といふは寺
人三百年一代文氏天皇皇太子元年一始り師
の名をたつべきはすしきまこと海に
山平寺といふ人本寺十二面観音尊像は
すも大師具と密に法真院に密に
すも大師具と密に法真院に密に



今の世に公ひぬくすす
つるは八師のちひと
そこの川は
おの先をたつは青雲山大室寺大光院といふは寺

のたつそこの川は一里山坂おの
平十又青雲山谷寺は密院海岸山といふ
名よのそこの川は一里山坂おの
平十又青雲山谷寺は密院海岸山といふ



そこの川は一里山坂おの
平十又青雲山谷寺は密院海岸山といふ
名よのそこの川は一里山坂おの
平十又青雲山谷寺は密院海岸山といふ

神村坂のりい、神村が、乃、松島の城、之、信乃
溪の、小、坂、土、高、山、之、く、妙、松、つ、り、舟、あり
坂、才、一、筆、屋、大、師、を、ま、ま、あ、木、村、系、の、村、く
た、村、小、川、を、浮、舟、の、浦、り、村

同十六番、津、路、瑞、寺、聖、王、山、雲、長、殊、院、り、り、ふ
本、ま、の、業、師、同、月、光、年、十、二、神、化、者、志、乃、な、す



松、木、村、を、り、り、せ、り、い、ま、り、り、り、り、
り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、

是、り、り、八、坂、之、又、岡、一、八、坂、村

同十七番、南、八、坂、寺、能、谷、山、妙、見、院、之、云、本、ま、の、
何、所、能、坐、像、り、長、三、尺、七、寸、の、作、あ、心、ハ、大、師、の
後、凡、三、百、〇、が、也、り、り、の、事、一、百、り、す



若、狭、乃、て、寺、り、り、り、り、り、り、り、り、
り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、り、

是、り、り、林、ち、り、り、一、里、あ、り、り、村、小、村、川、三、郎、り、
た、の、村、最、り、り、り、り、

同十八番、西、林、寺、清、源、山、安、聖、院、本、ま、の、十、一
西、親、乃、也、像、り、長、三、尺、六、寸、所、作



此は仏の世界なるの事なり
の事なりとの事なり

是の法上よりと云ふ所 土井村なるのこ村
早九番南津上寺の公本坊西村山三義院と云
け寺の王守平代孝徳天皇の勅教しつり
奉る釈迦の基の作なり



一徳のわき身と云ふ所の事なり
孝とのことなりとの事なり
是の事なりとの事なり

是の事なりとの事なり 温泉郡なる
早十番南津上寺東山湯地光院と云ふ
と孝徳天皇の勅教しつり 奉る孝徳天皇の勅教しつり
長三尺の基の作 温泉郡なる 奉る孝徳天皇の勅教しつり
他教大師の作なり



よるの事なりとの事なり
の事なりとの事なり

是の事なりとの事なり 温泉郡なる
早十番南津上寺 温泉郡なる 奉る孝徳天皇の勅教しつり

師坐像は長二尺寸の作はきよめ
 志の三節の石よりせりまはりて
 聖氏の界に水たまりを寺とせし
 聖徳太子の勅傳し心号せん



ありてはありてうら
 ありてはありてうら

乞をた山寺と二里の湯松山城下へ
 たへりてなごの湯へ一里あきみ
 町松山へうらねの湯松山城下へ

村ありてち村を寺と八町熱門を
 平十二番太山寺和を歌遊雲山護行院と云
 聖武天皇皇山建立を十一面観音立像は長
 六尺八寸の作を東岸より多路なる小像あり
 聖徳太子の像と伝へて入給ふと云なり



乞をた山寺と十八町和を歌遊雲山護行院と云
 のらねありてなごの湯松山城下へ

乞をた山寺と十八町和を歌遊雲山護行院と云
 平十二番田明寺須賀山正智院と云是も

仍奉之と云う一のは長三入の海路と
奉る。と云う。終り



本達の海路の老は多々
てりそのふけふあくの月

毛の多入のくくと九里より村ありあはらま
と云う村なりとて村所をがらの坂あさなりと
村青木切りまふむじまの坂ひらひあけたは
一里と云う坂なりとて坂だひ村なりと云う村あり
所 縣村あり松木のけり十里と云う二里つら

ありと云う一石あり

又十四番知命寺近見山不動院本も中像
不動明王長二尺初基の作



ありと云う後の多入とながひんハ
のこさなりけりとうとありのれ

毛のり別宮と一里。今治

又十番別宮越智郡大嶽山金剛院光明
寺今八南光坊と云う八三行の井と勅請と
文武天皇の御宇と云うは伊豆松浦南郡天

下三不ちの本地大通菩薩佛



いさまりのまじりてのさあけり
このまじりてのまじりてのまじり

毛分たのふくまに二里武所たふ今活下
ひよ村。るこえ村。ふくま村

卒十六番泰山寺金林山は寺大師宗基奉
る地我望像の長二尺守大師宗基



ふかふのまじりてのまじりてのまじり
ふせのまじりてのまじりてのまじり

毛分たのふくまに十所。りて熱地川あり。
よ村。いあ村

卒十七番八幡石法水当社法彦さつた
海中よりあづさせりて也



阿弥陀
世のまじりてのまじりてのまじり

毛分たのふくまに廿所。りて熱地川あり。
卒八番依礼山平光院仙遊寺は寺天智天皇
の代。りてのまじりてのまじりてのまじり



きりく依礼のきまらざる
さきととのみまらざる

きりく分ちとて三里忠村松村山川と國分村
早稲在青田寺村勢助金光山最勝院は寺
聖徳太子の初願天下國分又の列もさるなり
但今の幸ふる兼所望像は若くは其基の作
新田義助の墓かたはりあり



名どのたがよともあがびるまか
いよくあがびやうりあり

きりくふりて林とて三里忠村山川と國分村
より山後勢助の墓かたはりあり
ちり所生木地産新田村川と大戸村
はたしな地切さけきりくあり
あも村ふりてあり

早稲在青田寺村勢助金光山最勝院は寺
とて人開奉とてその寺は松山のねふもあり
日栄寺望像は長三尺二寸は山のねふもあり
横の寺は青苑とて名もあつたりあり

しひ大野が村の名泉あり



この大野ありしひが村は寺あり
くふ寺様とのもこのむす

そこのしひ大野寺と二里西つと村ありの
本村すまてだんともふ

二十四番里系神寺新居勢い寺石鉄山入
はひの系ひのしひといふておとそつちひと
奥系神とといひそと里系神と云ふつちひ
二月朔日の三日とよのやぶ系神ひまのりといふ

ぐるお二宗ろ我王権現示現の地役の地系練
修の地あり大峯といふ一夫語れ山なりといふ寺
奉る阿弥施作と云ふ



系神と云ふはあくらく乃
よろ所のつとててて石はち

そこの三角とと十里すの月村あり村はあり
川あり大所ぐたけ村上あり村ありと云ふ村
まら村すとの村らと云ふ村川ありとの村せき
村うの村と云ふ村中村小村村つ村村のつ村

おころ村さむ川村（さむ川）村中の名村ありて
 孫村が村だとの名村半次天王某所あり
 宇麻郡とて村三角と坂
 六十又青由（青由）山（山）院（院）平々十一面立像あり
 六又二十大師の所作（所作）経勸（経勸）寺あり坂と名なる院と
 云三角の大師の徳（徳）壇（壇）と三角寺とあり
 三角寺奥院金光山（金光山）仙苑寺と云平十八所
 坂ありと山（山）黒（黒）隈（隈）とて此所の大師
 此修（此修）の所あり大師と平々あり



おころや三角の角とありて人
 ありとありて保たれし神人なり
 名ふと人くとと又里全川村の村故を
 平山村とて村（村）の村とて村とて村とて
 お村故少は作（作）伴（伴）ありて中境とて名なる
 ちと三里に所分との村あり及青下とて切
 わいとじば不（不）法（法）寺（寺）園（園）とて名なる
 の不えんとて平河坂とて山と名なる

後加

廿三ヶ所

より梅の孫命身の中より其の音ありしより
名づくの父は武内大臣南の侍者なり



龍

ふきの事も松原にも見ゆ
くもまのそののけり

毛のくまの人の下と三所

六十九番南観音寺と室山と云々其の正観音坐像
は長三尺六寸大所は化い寺は大師院なり
たのひのくまの化い寺は室山より寺と云
八幡一はくまをてぬつてし



松原の大ひねらつてし
おのこつてしおのりあつてし

毛の卒山と云々其の村おんむら村なり
七十番卒山寺宝持院と云卒山の庄あり
故の寺の名とせしむる卒山馬観現喜に云々
又すは松原のあつてし



卒山と云々其の村おんむら村なり
おのこつてしおのりあつてし

毛の卒山と云々其の村おんむら村なり

どの家より御なり月邊家の正家なり
 上寺おのせしむしがさお村が申す村もん
 多し村この郡大分村あり
 七十二番弥生言劍五山千の院とよは山八
 月とに基并密基大所未聞お修の内室
 劍又柄とくこの故劍五山と号す大所岩屋
 伝傳と割舟舟をさる千と武高立像は七
 三又寸不動思沙門のひ弱三原のこ
 待り同くんるお望は像ありといふこと

けり今月のことしはあはれき



悪くおつれえんもつたか
 をくりせありとすき交さる

七のまんたき寺と三里白方(おけい)山とを
 ひどの村と云のう村よりち村
 七十二番曼荼羅寺秘神山延命院と云
 け寺ハ大所を通ると成苑ありてはひ
 七伝業師の像と伝り金すす人おなり幸寺ハ
 大日如来坐像は七二又す也いありては神

萬曆のつそとみまの墓の墓といひ



まのふもまへておひんかみで
かこひしんひかきしん

そこのまのつそとみま

七十三番出釈迦寺我孫仲山山本寺に於た本
ろ又松野の墓と大師は名さやうのつそと釈
迦寺といひ松野寺か少くとも出釈迦
といふあり山家集よまをやうりの人
まろつそとみまのつそとみまあり



釈迦 西のひんかみまをまをまをまを
たのつそとみまのつそとみま

そこのつそとみまのつそとみま

七十四番青田山寺醫王山多室院と云々
茶師坐像の墓と又又寸大師に依り



十二杯みまのつそとみま
おのれとありありありあり

そこのつそとみまのつそとみま

多室院 茶師坐像の墓

七十八番の通言立岳山徳生院は屏風が
浦しと別大師は徳生の地あり又岳八時つ若
あつたなるの普通大師の父あつたつて
寺名とし徳生の地はふあつたのし
るよりの様く大師のまゝ然あつた本を業師
坐像れ出きまふ大師に化あり



たすあはまもまをてしせんつじ
かろらんどうしと廿剛えひうかろ河の交り

たわおと初一里まようた村下うた村
七十六番金倉寺約一山宝幢院又八道
寺とも云ふ寺ハ智徳大師徳中一の地なり
智徳大師ハ弘法大師のれあり本を業師
ゆま坐像れ出二尺八寸智徳の化三井寺
いあれらんあり



ゆま坐像れ出二尺八寸智徳の化三井寺
いあれらんあり

ゆま坐像れ出二尺八寸智徳の化三井寺
いあれらんあり

七十七番道隆寺 栗田山明王院をさる栗の
木は小像なりしと大師今の某師立像ニ又
寸の月へ像の若くは若くしり



祇園の月と又きくりさふ
祇園の月と又きくりさふ

元なる切ると二里守おる村川を去る村
九龍橋下とさ川を去る九龍橋ひびく松原
るくし海をく移り所

七十八番道場寺 移り所の眼寺と云々

河内坐像の長二尺八寸大師の作



おろりとの念佛中なるは
しりしとさるへくひと寺なり

是の寺のく天宮と二里守ふくり所なり
て村ハ十八のあり石仏の某師大師の作也
河内郡小西庄村

七十九番 崇徳天皇寺 八妙成徳寺 金龍山
摩尼珠院と云大師内開基奉堂十一面観
音立像の長二尺二寸也崇徳天皇山明河あり

むさし^いれ^い村^い金^い権^い志^いづ^いく^いあ^いは^いら^いな^いの^いり^い
後^いも^い七^いの^い廣^いと^いす^いし^いり^い別^い上^い徳^い也^いあり



寺^いら^いは^いら^いき^い世^いの^い井^いと^いは^いの^いり^い
天^いの^い皇^いと^いす^いへ^いど^いあり

乞^いふ^い分^いち^いと^い二^い里^い也^いあ^いや^い川^い名^い也^いか^いと^い村^い
あ^いの^い坂^い石^い野^い那^い玉^い分^い所^い

八^い十^い青^い國^い分^い寺^い白^い牛^い山^い千^い手^い院^い之^いは^い寺^い也^い
天^いの^い皇^いの^い御^い當^い坐^いの^い玉^い分^いち^い終^いり^い今^いの^い奉^いる^い
千^い手^い院^い之^い像^いは^い長^い一^い丈^い六^い尺^い大^い師^いの^い内^い作^い



玉^いの^い分^いけ^い野^い山^いと^いあ^いの^い寺^いと^いす^い
ま^いい^いれ^いる^い人^いと^いた^いす^いけ^いり^い海^い也^い

乞^いふ^い分^いち^いと^い二^い里^い也^いあ^いや^い川^い名^い也^いか^いと^い村^い
谷^い川^いあり^い石^い野^い那^い玉^い分^い所^い海^い村^い

八^い十^い青^い國^い分^い寺^い後^い松^い山^い洞^い林^い院^いと^い大^い師^いの^い
洞^い基^い也^い補^い陀^い洛^い山^いり^い奉^いる^い契^い本^いと^いい^いて^い奉^いる^い
千^い手^い院^い之^い像^いと^い似^いる^い智^い徳^い大^い師^いの^い作^い之^い像^いは^い長^い
三^い尺^い三^い寸^い也^い崇^い徳^い天^い皇^いと^いい^いふ^いり^い也^いり^い也^い
つ^いく^いは^い廣^いけ^いり^いと^いす^いり^い

この村にまゝのありて村出村多ひす村かす村
かて本村をいりやへち十八所

半世南屋院寺やまゝ郡南面山千光院と云
け寺考徳天を天平宝字年中大唐より来
おせり法真和上宅條してひり法をとり
大師ありといりて千手千眼大悲の像と刻て
奉る〜千手院と号す也



あつらひはのまゝまありは
いりてひりていさむまのぬ

是のつらひのちと二里東坂十町よりして佐友次
信墓あり洲崎の寺親考大師出作凡生山
〜源氏の陣所あり熱とてあり結
ひもねと云

八十又清八栗寺三本郡五剣山千手院といふ
け山淡田の家も也大師求圓持と修ひり〜孫
内利親又柄定より〜成り又剣山といひ
大師入道の系伝とやと栗八枝う入孫の〜
生とせ〜いり八栗寺と云奉る正親善所

神内修法の示あり

公平者大徳寺醫王山遍照院はる園基
初基并しその後大所後起し初平
る東所坐像二方全供し初平
具院は幸きより十八所のなる意客中なる
何所迄親考大所ありて未圓持修のわ
そはされしとあり 山上後及ふ



あま業所よりひきまうれれつ
まいれり人のあふらふので

白鳥宮へくんけいの人のあふらふ
初る道布都忍ふもあり

○是より別々なりたし寺を又里まの村
是を二里後分いぬけ村是より何及分
いぬのむら村ひらぬや村者下あり切もあ
らるひ大なる寺より是を山流谷川に
まゝあり。是をきりたし寺を二里

願此功德 普乃於一切我等与衆生 皆共成仏道

四箇國總八十八箇

日二十三个所

河川

乃法九十七里才二丁

軍今一里

日一十六个所

古川

乃法九十一里才

八十一里

日二十六个所

豫川

乃法百十九里才

三十一里

日二十三个所

俣川

乃法三十二里才丁

三十一里

道法都 三百四里才餘

四國偏禮細見圖

折分 志冊

所據下國境名不四枚之

臨寄小あり川以心求一丁下

弘所阿州一八番札所恩山寺隣釈迦庵

明和四丁亥正月 再板

文化四丁卯五月 求板

心齋橋南五丁目

大坂書林

佐々井治郎右衛門版

